



▲「松尾の大いちょう」から生中継した高橋巨典アナ(テレビ宮崎)と平家大いちょう太鼓の皆さん。

## テレビ中継で椎葉を全国発信

年末年始、椎葉村ではテレビの全国生中継が相次ぎました。12月20日にはフジテレビの「めざましテレビ」、大晦日にはNHKの「ゆく年くる年」で本村の年末年始の様子が全国に発信されました。

めざましテレビでは、災害からの復興を目指す地域の方々や太鼓グループ「平家大いちょう太鼓」(松尾地区)の活躍を演奏とともに紹介。また、ゆく年くる年では、周辺で大災害が発生した椎葉厳島神社の初詣の様子と上椎葉神楽の奉納が生中継されました。



▲手作業によるパック詰め。写真は松岡伸一さん宅(下松尾)。

## 椎葉産「春の七草」が大人気

1月上旬、村内の園芸農家では「春の七草(せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ)」の出荷が行われました。昨年の台風災害の影響で生産農家が減少しましたが、今年は18農家から6万5520パックが出荷され過去最高となりました。

厳しい寒さの中、年末年始を返上しての大変な作業ですが、美味しい水ときれいな空気の中で育った椎葉産の七草は市場で大人気。1月7日には九州各地をはじめ遠くは関東方面のスーパーなどでも店頭に並びました。



▲成人の記念にドナー登録をした新成人。

## 成人式で「骨髄バンク」ドナー登録

1月4日、村開発センターで「骨髄バンク」のドナー登録手続きが行われました。これは同日行われた成人式で講師を務めた大谷貴子氏の来村を機会に実施。(財)骨髄移植財団や日向保健所などの関係者から目的や登録方法の説明が行われた後、同意された方がそれぞれ2mlの採血とともにドナー登録の手続きをしました。

大人としての第1歩に振り袖姿の新成人も登録を済ませるなど、多くの方から善意が寄せられ、白血病など血液難病の患者さんを救う機会が広がりました。ドナー登録は、全国各地で18歳～54歳までの健康な方であれば登録することができます。皆さんもぜひ善意の輪を広げてください。



▲出席者によって行われた新春を祝う鏡割り。

## 新春賀詞交換会

1月11日、村開発センターで平成18年椎葉村新春賀詞交換会が行われました。この交換会は、村商工会が主催したもので、商工会会員のほか行政関係者や村議会議員、区長、各種団体の代表など約80人が出席しました。

新年のあいさつや鏡割りが行われた後、出席者はそれぞれの分野における今年の抱負や方針などを語り合い、災害からの早期復興に向け一致団結しながら、村の発展を共に目指そうと決意を新たにしていました。

